

小児科専門研修プログラム

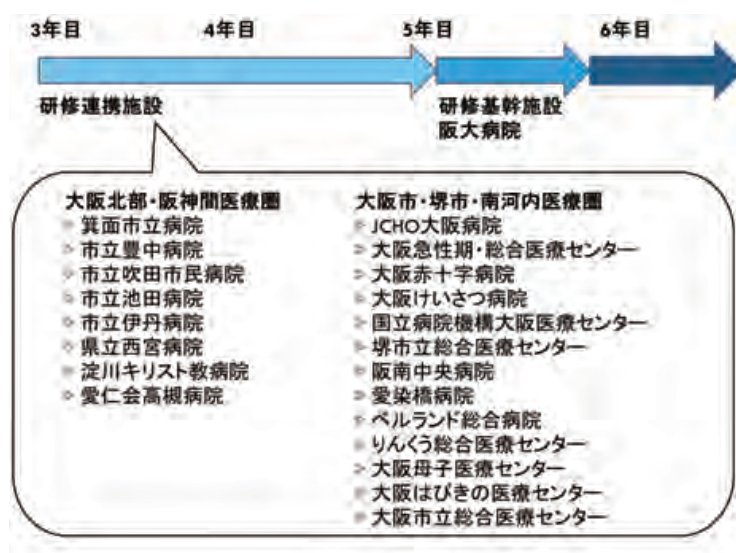
(1) 大阪大学小児科専門研修プログラムについて

大阪大学医学部附属病院小児科専門研修プログラムでは、大阪大学医学部附属病院と関連研修病院において一般小児診療から高度専門医療まで幅広い小児医療を経験し、習得することを目標としています。

関連市中病院では、感染症やアレルギー疾患を中心とした一般小児科外来、予防接種や乳児健診などの公衆衛生行政への参加、さらには中等症以上の患者さんに対する入院診療が中心になります。それに加えて、新生児集中治療や新生児蘇生法などの周産期医療も学びます。大阪大学医学部附属病院ではそうした common disease 以外に、移植医療や小児がん、様々な希少疾患など非常に専門性の高い疾患を診療し、最先端の臨床研究や治験などの経験も積むことができます。研修途中であっても、自分が興味を持った診療分野について、他の病院で短期的に研修する制度も導入しています。各病院との調整の時間は必要ですが、より幅広い研修をしてもらいたいと思います。

(2) プログラムの内容について

2017年度から、日本小児科学会は新専門医制度に対応しました。大阪大学小児科の専攻医研修では、最初の2年を関連研修病院で、残り1年を大阪大学医学部附属病院で研修するコースを基本としています。関連研修病院は、大阪府と阪神間の都市圏に集中しているだけでなく、小児科学会の各専門分野で指導的な立場にある医師も多く、全国的にもレベルの高い研修が可能です。可能な限りみなさんの希望に沿ったフレキシブルな研修ができるようにしています。日常診療に役立つ各専門分野の指導医による専攻医向け講習会や、専門医試験の対策セミナーも定期的に行い、これらはweb配信も行っています。



さらに2020年度からは大阪大学小児科プログラムの特色として、全専攻医対象に「発達障害診療研修制度」を導入しています。こどものこころ分子統御機構研究センターとの共同により、近年ますます重要性の高まっている発達障害診療について、ボランティアの子どもを相手に、各種発達検査やワークショップを行い、より深く研修することが可能です。

(3) 研修が終わったら

1) 専門医試験を受験し小児科専門医を取得できます

3年間の研修が終われば、小児科専門医を取得できます。論文執筆、症例要約、専門医試験合格という、3つの関門がありますが、大阪大学小児科専門研修プログラムの中では、多くの優れた指導医がおり、それぞれを丁寧に指導します。

2) さまざまな進路があります

これまでの大阪大学小児科の卒業生たちも、その後いろいろな道を選んで各方面で活躍しています。

一般小児診療： 関連市中病院において地域診療の第一線を担います。そのまま病院で働く人、開業する人、他地域の大学病院や専門病院に行く人もあり、進路は自由です。

大阪大学小児科の関連病院は、大阪府内と阪神間の主要基幹病院がほとんどで、都市部にのみ存在しております。多くの上級医や仲間たちとともに、多種多様な症例や、数多くの小児患者さんを診療することが可能です。

専門診療： 大学病院やこども病院などでサブスペシャリティの道を究めます。大阪大学小児科には、腎・骨代謝、栄養・消化器、内分泌、血液・腫瘍、循環器、神経・神経代謝・発達、新生児といった、多彩なグループがあり、関連病院には、大阪母子医療センター等こども専門病院もあります。いずれも全国で指導的な役割を担う医師が多数在籍しています。小児科専門医を取得したのち、さらに、小児神経、小児循環器、周産期・新生児、小児血液・がん、血液、内分泌、小児栄養消化器肝臓、臨床遺伝などのサブスペシャリティ専門医を取得することができます。

基礎研究： 大学院に進学して基礎研究をする人も多くいます。実際の臨床現場では、まだまだ現代医学では未解明な謎や、治せない子供たちが沢山います。病態の解明や新規治療法の開発など、臨床現場を知っている医師研究者は基礎研究においても非常に大切です。まずは博士を取得することが一つの目標ですが、大阪大学小児科では積極的な海外留学をすすめており、多くの先輩が2～3年の海外留学を経験しています。その後、臨床に戻る人だけでなく、そのまま基礎研究の世界で活躍する先輩も多くいます。

(4) 終わりに

大阪大学小児科では、どのような希望をもった専攻医にも満足してもらえるような研修システムと進路を準備しています。医局員が多いということはすなわち、多くのロールモデルとなる先輩たちがいて、多彩なキャリアパスを皆さんに提示することができ、かつ医師としての横の広いつながりやコネクションが得られることを意味します。また、多くの女性医師が在籍し、妊娠や出産のあとも、それぞれの専門性や独自性を生かして、ワークライフバランスをとりながら幅広く活躍しています。当然のことですが、男性医師においても育休の取得を推進しており、実績もあります。

見学や進路相談も積極的に行っています。詳細はHPをご覧ください。子どもに関わる仕事がしたい、子どもの成長をサポートしたいという方は、是非大阪大学小児科に来てください。お待ちしております。



問い合わせ先

■ 大阪大学大学院医学系研究科小児科学

担当者 木村 武司、橘 真紀子

✉ ikyoku@ped.med.osaka-u.ac.jp

診療科ホームページ <https://www.med.osaka-u.ac.jp/pub/ped/www/>

